

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 淡路谷隆久

平成29年4月1日

第125回理事会を開催

平成29年3月15日、一般社団法人電池工業会第125回理事会が機械振興会館で開催された。定款に基づき依田誠会長（株式会社 GSユアサ）が議長となり、第1号議案から第3号議案まで審議され、提出された議案は、全て可決承認された。また、報告事項についての確認がなされた。



1. 議案

(1) 第1号議案 平成29年度事業計画（案）の審議

各部会長および事務局担当部長より、配布資料に

基づき平成29年度の事業計画（案）の説明がなされた。

審議の結果、第1号議案は原案どおり承認可決された。

(2) 第2号議案 平成29年度事業予算（案）の審議

経理担当部長より、配布資料に基づき平成29年度事業予算（案）について説明がなされた。

審議の結果、第2号議案は原案どおり承認可決された。

(3) 第3号議案 工業会規程改正案の審議

事務局長より、配布資料に基づき、工業会規程改正案について説明がなされた。

審議の結果、第3号議案は原案どおり承認可決された。

2. 報告事項

(1) 職務執行状況の件

専務理事より、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告を行った。

(2) 会員代表者変更の件

下記の会員について、事務局長より会員代表者の変更があった旨報告された。

(賛助会員)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
株式会社 キャプテックス	さとう きよし 佐藤 潔 (代表取締役社長)	坂之上 太平	H28.09.01
日本重化学工業 株式会社	はだ としあき 羽田 俊明 (取締役 事業部長)	羽村 清孝	H28.09.30
三菱化学 株式会社	いしはら じゅん 石原 旬 (シニアマネージャー)	渋谷 隆一	H28.12.01

(3) 事務局交代者の件

事務局長より、着任出向職員2名、帰任出向職員2名の紹介を行った。

第82回二次電池第2部会を開催

平成29年2月20日（月）、湯浅部会長（パナソニック（株））を議長に、第82回二次電池第2部会を開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認した後、湯浅部会長と淡路谷専務理事からの挨拶があり、続いて各委員会の代表から平成28年度の活動報告と平成29年度の活動計画が報告された。



1. 湯浅部会長挨拶

昨年後半から環境対応車（EV等）が、海外で活発化している。規格／規制の動きもあり、電池工業会として注視していきたい。



2. 淡路谷専務理事挨拶

自動車駆動用や定置用電池は2025年～2030年には、飛躍的に伸びるという予測が世界中にある。民生用と同じ轍は踏まないようにしたい。



平成28年度 二次電池第2部会 事業報告

1. 国内外の標準化及び規格に関する活動

1-1. 技術対応 (技術委員会)

(1) 小型二次電池の規格

(1) 小型二次電池の規格

- 1) 小型二次電池のIEC 62133-1、IEC 62133-2、IEC 61960-3がIS発行され、IEC61951-1、IEC 61951-2はFDIS承認。
- 2) IEC 61960-4（コイン二次）のCD作成。
- 3) IEC 62902（電池種表示）2nd CDのコメント

対応。

- (2) 電気用品安全法（JIS C8712:2015がJ62133として整合規格に採用）
- (3) 第108委員会（IT／AV機器。機器規格の電池要求の適正化）
- (4) 内部短絡試験（適切でない代替試験に反論）
- (5) 産業用LIBの規格
 - 1) 蓄電システム用LIB安全規格をNP提案し承認。
 - 2) JIS C 8715-1をIEC62620と整合させる原案が承認。
 - 3) 産業用Ni-MHの性能と安全規格をNP提案し承認。
- (6) 自動車用非駆動用LIB規格（性能規格と安全規格をNP提案し承認）

1-2. 海外対応 (国際電池規格委員会)

(1) IEC規格 SC21A 対応

- 1) WG1 IEC60023 Ed.5（制御弁付角形ニカド：IS発行）、IEC63115-1（産業用NiMH性能：NP可決）、IEC63115-2（産業用NiMH安全：NP可決）
- 2) WG2 IEC61951-1 Ed4（ニカド：IS発行）、IEC61951-2 Ed4（ニッケル水素：IS発行）
- 3) WG3 IEC61960-3 Ed 1（ポータブル機器用LIB：IS発行）、IEC61960-4 Ed1（コイン形LIB：CDレビュー）
- 4) WG4（小型二次安全）IEC 62133-1（Ni系：IS発行）、IEC 62133-2（Li系：IS発行）
- 5) WG5（産業用LIB）IEC62619（安全：IS発行）、IEC63056（蓄電システム用LIB安全：NP可決）、IEC63057（非駆動用LIB安全：NP可決）、IEC63057（非駆動用LIB性能：NP可決）
- 6) JMT18 IEC62281（リチウム一次・二次の輸送安全：IS発行）

(2) IEC規格 その他のTC

- 1) TC21／WG9 IEC62902（電池識別表示：CDV移行）
- 2) TC21／WG10 IEC62485-5（定置用LIB組電池の安全：1st CD回付、IEC63056とScopeが重複しないことを確認）、IEC62485-6（駆動用LIB組電池の安全：1st CD 回付）
- (3) ANSI規格（市販用Ni-MH性能規格をIECに整合する日本提案受入）
- (4) 中国蓄電システム用LIB安全規格

- (5) インド強制登録制度（2017年8月まで猶予延期の交渉成立）

2. 国際危険物輸送に関する活動

（国際電池輸送委員会）

- (1) 国連危険物専門家小委員会対応
 - 1) USB充電器（Power Bank）は電池として輸送規制
 - 2) シングルセルバッテリーでの再試験は不要
- (2) ICAO会議対応
 - リチウム電池単体の航空輸送の新包装基準策定（SAE-G27）に参画
- (3) リチウム電池の輸送に関する手引書（第8版発行）

3. 蓄電システムの普及促進に関する活動

（普及促進委員会）

- (1) 政府への要望書（28年度の要望書を作成）
- (2) 官公庁、他団体への対応強化（風力発電事業者との意見交換実施）
- (3) 蓄電池設備整備資格者 講習／再講習テキストの改定

4. PLに関する活動

（PL委員会）

- (1) 表示ガイドラインの対応（第6版発行）
- (2) 安全で正しい電池の使い方の啓発資料の見直し
- (3) 消費者庁／NITEの事故情報の監視

5. 環境保全に関する活動

（工場環境委員会）

- (1) 環境関連法の法令・条例等の改正に関する情報交換
- (2) 環境視察の実施

6. 再資源化に関する活動

（再資源化委員会）

- (1) 定置用LIB共同回収スキームの検討・推進
- (2) 経済産業省対応

平成29年度 二次電池第2部会 事業計画

1. 国内外の標準化及び安全性規格に関する活動

1-1. 技術対応（技術委員会）

国際標準の国内技術審議、国際標準化主導による適正化、JIS規格の国際整合化

- (1) 小型二次電池の規格に係わる対応
 - 1) IEC規格に関して国際電池規格委員会と連携して対応
 - 2) IEC 61960-4（コイン二次）規格化
 - 3) IEC 62902（電池種表示）の審議
 - 4) JIS C 8705（ニカド）とJIS C 8708（ニッケル水素）の改正
 - 5) IEC 61960-3にJIS C 8711を整合
 - 6) IEC 62133-1 とIEC 62133-2に分割したISをJIS C 8712へ反映
 - 7) ニッケル水素のK値見直しについてSBA規格化を実施
- (2) 電安法の別表第九削除についての対応
- (3) 第108委員会（AV／IT機器）への対応
- (4) リチウムイオン電池の安全性試験に関する対応
 - 1) BAJ外に展開可能なFTAの充実化
 - 2) 内部短絡系試験の代替案に対する妥当性検証
- (5) 産業用リチウムイオン電池の規格等に係わる対応
 - 1) IEC63056（蓄電システム用Li二次電池の安全）のIEC規格化
 - 2) JIS C 8715-1の改正原案が制定される迄フォロー
 - 3) JIS C 8715-2の改正原案作成開始
 - 4) 産業用Ni-MH電池のIEC2件（性能、安全）の規格化
 - 5) 蓄電システム用Ni-MH電池の安全性要求事項の規格化
 - 6) 建築設備計画／設計基準の追記内容（Li、NiMH）確定
 - 7) リチウムイオン電池のK値の決定方法および代表値の提示を検討
- (6) 自動車用非駆動用リチウムイオン電池のIEC規格CD作成
- (7) 二次電池環境IEC規格の構成案作成

1-2. 海外対応（国際電池規格委員会）

日本主導での国際標準化、国家標準・業界標準対応、各国電池規制対応

- (1) IEC規格 SC21A関係
 - 1) WG1：①IEC60623（制御弁付角形ニカド単電池）Ed.6への改訂、②IEC63115-1（産業用NiMH性能規格）、IEC63115-2（産業用NiMH安全規格）のCD原案を作成

- 2) WG2：①IEC61951-1（ニカド電池） Ed.5への動向注視、②IEC61951-2 Ed4（ニッケル水素電池） Ed.5への動向注視
 - 3) WG3：①IEC61960-3 Ed1（ポータブル機器用リチウム二次電池性能・表示規格） Ed.2への動向注視、②IEC61960-4 Ed1（コイン形リチウム二次電池性能・表示規格） CDのコメント審議
 - 4) WG4：①IEC62133-1（ポータブル機器用Ni系二次電池の安全規格） Ed.2への動向注視、②IEC62133-2（ポータブル機器用Li系二次電池の安全規格） Ed.2への動向注視
 - 5) WG5：①IEC62619（産業用Li二次電池の安全規格） Ed.2への動向注視、②IEC63056（蓄電システム用Li二次電池の安全） CD原案作成、③IEC63057（自動車駆動用を除くLi二次電池の安全） CD原案作成、④IEC63118（自動車駆動用を除くLi二次電池の性能） CD原案作成
 - 6) 環境規格：二次電池の環境規格を日本から提案
 - 7) JMT18：①IEC62281（リチウム一次電池・リチウム二次電池の輸送の安全規格） 改定
- (2) IEC規格 その他のTC
- 1) TC21/WG9 IEC62902（電池識別表示） 5月にCDV回付予定
 - 2) TC21/WG10 IEC62485-5（定置用LIB組電池の安全）、IEC62485-6（駆動用LIB組電池の安全） 各CDに対するコメント審議
- (3) ANSI規格
- (4) 米国IEEE規格
- (5) UL規格（IEC規格との整合化を働きかけ）
- (6) 中国据置型電子機器用LIB安全規格（情報共有）
- (7) インド強制登録制度

2. 国際危険物輸送に関する活動

（国際電池輸送委員会）

- (1) 国連危険物輸送専門家小委員会への対応
リチウム電池の危険物分類を見直すInformal WGにも参加
- (2) ICAO危険物輸送規則への対応
リチウム電池の新包装基準を策定するSAE-G27にも参加
- (3) 各国運輸省、業界団体との連携

3. 蓄電池システムの普及促進に関する活動

（普及促進委員会）

- (1) BAJ取扱いの蓄電システムの普及促進活動を実施
- (2) 政府への提言（要望書として過去6年間継続）
- (3) 官公庁、他団体への対応強化
資源エネルギー庁への提案活動を実施。環境省、国土交通省、都道府県等の制度への蓄電池の採用促進

4. PLに関する活動

（PL委員会）

- (1) 電池の正しい使い方等に関する啓発資料の作成
「WE LOVE DENCHI：安全で正しい使い方」の改定
- (2) 消費者庁/NITEの事故情報収集
事故情報の監視および定期報告

5. 再資源化に関する活動

（再資源化委員会）

- (1) 定置用LIB蓄電システムの共同回収スキーム検討
- (2) 蓄電システム共同スキーム合同会議

6. 環境保全に関する活動

（工場環境委員会）

- (1) 環境関連法の法令・条例等の改正の情報収集および情報共有
- (2) 工場に関わる環境活動についての情報交換
- (3) 環境視察の実施

以上、各委員会からの報告

JBRC報告

1. 会員状況

・2月現在：322法人

2. 回収・再資源化状況

- (1) 回収量：対前年度比112%
- (2) 再資源化率（Li-ion）：39%

3. 主な回収強化活動

- (1) 回収拠点の登録拡大：新規831

4. JBRC活動のPR

- (1) 新聞・雑誌の紙面広告
- (2) インターネット広告
- (3) 展示会・イベント出展

5. JBRCからのお願い

法人名、リサイクルマーク、電池種番号の表示

鉛電池に関する日米欧3極会議報告

2017年2月13日～14日 東京

2017年2月13日～14日に東京（機械振興会館）で、日米欧3極電池工業会の初めての会議が実施された。参加した工業会は、米国のBCI、欧州のEUROBAT、日本のBAJの3団体、及び14日は日本鋳業協会（鉛亜鉛需要開発センター）が合流した。

BCI（Battery Council International）：米国の鉛電池メーカーを中心とした工業会で、自動車用電池、産業用電池の関係者で構成されている。今回はThorosby氏（副代表）、太田氏（理事）が参加。

EUROBAT（欧州電池工業会）：欧州の二次電池メーカーを中心とした工業会で、自動車用電池、産業用電池の関係者で構成されている。今回はWestgeest氏（常務理事）が参加。

BAJ（電池工業会）：専務理事を含む鉛電池関係者が参加。



前列右から、太田氏、Thorosby氏、Westgeest氏、淡路谷氏。
後列は二次電池部会各委員会の代表者

今回の会議は、2016年のBCI総会やEUROBAT総会の場において、「欧米では鉛電池に対する環境規制等の逆風が非常に強くなっている」との報告が多数あり、鉛電池に関する問題を共有するため、「日米欧3極会議を東京で開催したらどうか」との提案があり今回実現した。

主な意見交換を実施した項目を以下に示す。

①欧州REACH規制（鉛化合物）について

鉛化合物4物質が新たに規制対象となった。電池は

Articleとなっているが、EUROBATではREACH規制の適用除外にはならないと判断している。

②ELV規制について

2016年に鉛電池の適応除外（延長）はEUに提言されたが、2017年より次の見直しに向けたロビー活動を開始するので、BAJにも協力依頼があった。

③鉛電池のポジティブキャンペーンについて

欧米ではキャンペーンの一環として、第三者機関を使って、鉛作業従事者の血中鉛濃度の改善推移を開示している。

④鉛電池リサイクル工場へのLIB電池の混入について

欧米では混入による爆発・火災事故が発生している。そのための国際的な対策として、国際規格（IEC）によるカラーマーキングの標準化と、その運用による識別分類を日米欧で協力して推進している。

⑤日米欧の鉛電池リサイクルの現状について

欧米では電池メーカーが積極的に集める仕組みを作り、有価物としてほぼ100%が回収されている。日本からは、「現状国内の約40%の廃電池が有価物として韓国に輸出されている。この対策を官民で検討しているが、国内法規の関係で、欧米のようなスキーム構築は難しい状況である」と報告した。



最後に「日米欧のグローバル提携を継続するため、今回のような3極会議を今後も定期的で開催したい」との確認を行い閉会した。

平成29年 3月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	8日(水)	新種電池研究会	新種電池に関する情報交換、来年度の事業計画、他。
	13日(月)	国際環境規制総合委員会	地域別動向のアップデート、来年度の体制、日程、他。
	15日(水)	第125回理事会	平成29年度事業計画案、予算案承認、他。
	16日(木)	広報総合委員会	HPの修正、小冊子の改訂検討、年間スケジュールの作成、でんちフェスタ、他。
二次電池部会	3日(金)	JIS D 5301 ワーキンググループ	JIS D 5301改正内容の審議。
	8日(水)	自動車技術サービス分科会	プレジャーボートトラブル防止啓発対応、他。
	10日(金)	PL委員会	外部事故情報、2017年度の活動計画、他。
	16日(木)	産業用電池技術サービス分科会	蓄電池整備資格者講習テキスト見直し確認、他。
	17日(金)	充電器分科会	分科会資料-03、-05の改正審議、他。
	23日(木)	資材委員会	2017年度活動検討、他。
	23日(木)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
	24日(金)	用語分科会	SBA S 0402/0406の改正審議、他。
二次電池第2部会	7日(火)	大形カスタムワーキンググループ	大形蓄電システムの普及促進検討。
	10日(金)	リチウム二次分科会	JIS C 8711改定への対応、他。
	10日(金)	法規ワーキンググループ	蓄電システムの規制検討。
	21日(火)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	22日(水)	国際電池規格委員会	国際規格 IEC規格審議とANSI規格審議、他。
	23日(木)	車載LIBワーキンググループ	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	23日(木)	普及促進委員会	蓄電システムの普及促進検討。
	27日(月)	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS C8705、JIS C8708の規格審議、他。
	28日(火)	据置LIB分科会	IEC規格の検討。
	30日(木)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格の検討。
一次電池部会	7日(火)	環境規格ワーキンググループ	35/1366/NPに関する審議、今後の予定(TC35 那覇会議に向けて)。
	10日(金)	環境対応委員会	情報提供自主ガイドラインについてBAJ各社の実施状況フォローアップ。
	16日(木)	リチウムコイン二次電池 国際規格ワーキンググループ	IEC 61960-4 CDコメント審議。
	16日(木)	リチウム小委員会	IEC那覇会議対応、リチウム電池輸送規制対応。
	17日(金)	規格小委員会	IEC60086シリーズ検討。JIS C 8514本委員会フォロー、解説(案)検討。
	27日(月)	誤飲対策セルワーキンググループ	東京慈恵会医大での試験結果と次回テスト等についての確認。 評価手法のまとめについて検討。

1月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2017年1月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	308,366	67,979	100%	100%	308,366	67,979	100%	100%
一次電池計	171,824	6,188	93%	100%	171,824	6,188	93%	100%
酸化銀電池	48,574	837	73%	73%	48,574	837	73%	73%
アルカリ乾電池計	60,171	2,688	123%	126%	60,171	2,688	123%	126%
単 三	32,601	1,295	120%	122%	32,601	1,295	120%	122%
単 四	17,051	623	120%	113%	17,051	623	120%	113%
その他	10,519	770	137%	149%	10,519	770	137%	149%
リチウム電池	63,079	2,663	91%	93%	63,079	2,663	91%	93%
二次電池計	136,542	61,791	110%	99%	136,542	61,791	110%	99%
鉛電池計	2,798	15,780	102%	100%	2,798	15,780	102%	100%
自動車用	2,147	10,066	103%	101%	2,147	10,066	103%	101%
その他の鉛蓄電池	651	5,714	99%	98%	651	5,714	99%	98%
アルカリ蓄電池計	38,726	13,705	98%	93%	38,726	13,705	98%	93%
ニッケル水素	34,591	12,753	102%	93%	34,591	12,753	102%	93%
その他のアルカリ蓄電池	4,135	952	75%	85%	4,135	952	75%	85%
リチウムイオン蓄電池計	95,018	32,306	116%	102%	95,018	32,306	116%	102%
車載用	54,869	21,230	184%	122%	54,869	21,230	184%	122%
その他	40,149	11,076	77%	78%	40,149	11,076	77%	78%

1月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2017年1月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	171,175	35,032	95%	104%	171,175	35,032	95%	104%
一次電池計	64,803	1,896	73%	87%	64,803	1,896	73%	87%
マンガン	0	0	5%	11%	0	0	5%	11%
アルカリ	1,868	46	110%	91%	1,868	46	110%	91%
酸化銀	26,601	377	62%	69%	26,601	377	62%	69%
リチウム	36,334	1,402	83%	88%	36,334	1,402	83%	88%
空気亜鉛	0	0	—	—	0	0	—	—
その他の一次	1	70	—	—	1	70	—	—
二次電池計	106,372	33,136	115%	105%	106,372	33,136	115%	105%
鉛蓄電池	145	1,068	99%	105%	145	1,068	99%	105%
ニカド	1,987	166	71%	66%	1,987	166	71%	66%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	—	—
ニッケル水素	9,866	5,150	83%	103%	9,866	5,150	83%	103%
リチウムイオン	88,340	21,806	123%	110%	88,340	21,806	123%	110%
その他の二次	6,035	4,946	101%	91%	6,035	4,946	101%	91%
全電池合計（輸 入）	118,653	14,445	64%	94%	118,653	14,445	64%	94%
一次電池計	110,065	2,016	62%	72%	110,065	2,016	62%	72%
マンガン	15,758	198	80%	101%	15,758	198	80%	101%
アルカリボタン	2,504	19	72%	70%	2,504	19	72%	70%
アルカリその他	72,450	1,011	108%	107%	72,450	1,011	108%	107%
酸化銀	145	5	83%	104%	145	5	83%	104%
リチウム	14,295	533	129%	105%	14,295	533	129%	105%
空気亜鉛	4,871	100	91%	123%	4,871	100	91%	123%
その他の一次	42	149	43%	267%	42	149	43%	267%
二次電池計	8,587	12,428	109%	99%	8,587	12,428	109%	99%
鉛蓄電池	777	3,394	126%	135%	777	3,394	126%	135%
ニカド	70	126	53%	74%	70	126	53%	74%
ニッケル鉄	6	1	8960%	193%	6	1	8960%	193%
ニッケル水素	2,371	471	115%	98%	2,371	471	115%	98%
リチウムイオン	5,236	7,286	117%	90%	5,236	7,286	117%	90%
その他の二次	127	1,150	20%	95%	127	1,150	20%	95%